

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-36701

(P2013-36701A)

(43) 公開日 平成25年2月21日 (2013.2.21)

(51) Int.Cl.

F 2 5 D 25/00 (2006.01)

F 1

F 2 5 D 25/00

P

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2011-174236 (P2011-174236)
(22) 出願日 平成23年8月9日 (2011.8.9)

(71) 出願人 000005049
シャープ株式会社
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
(74) 代理人 100085501
弁理士 佐野 静夫
(74) 代理人 100128842
弁理士 井上 温
(72) 発明者 前田 卓哉
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
シャープ株式会社内
(72) 発明者 山部 俊一
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
シャープ株式会社内
(72) 発明者 西村 隆志
大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
シャープ株式会社内

(54) 【発明の名称】 冷蔵庫

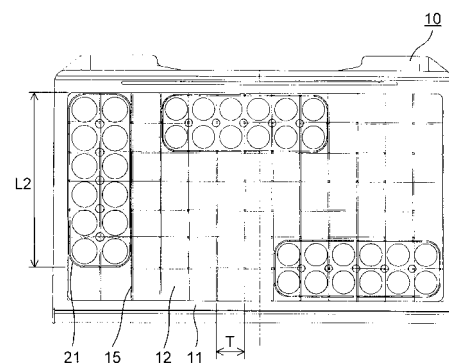
(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 鶏卵の鮮度低下を抑制できる冷蔵庫を提供する

。

【解決手段】 冷蔵庫1に設けられる貯蔵室3内に配して貯蔵物を載置する載置棚10と、鶏卵を保持する鶏卵収納容器21とを備え、鶏卵収納容器21を位置決めして保持する保持部をリブ15、16、17や溝部18、19等によって載置棚10に形成して、鶏卵収納容器21を嵌合する。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

貯蔵室内に配して貯蔵物を載置する載置棚と、鶏卵を保持する複数の孔部を有した鶏卵収納容器とを備え、前記鶏卵収納容器を位置決めして保持する保持部を前記載置棚に設けたことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 2】

前記保持部が前記載置棚上に突設または凹設され、前記保持部と前記鶏卵収納容器との嵌合または複数の前記保持部間と前記鶏卵収納容器との嵌合により前記鶏卵収納容器が位置決めされることを特徴とする請求項 1 に記載の冷蔵庫。

【請求項 3】

前記保持部が前記載置棚上に突設される格子状のリブまたは前記載置棚上に凹設される格子状の溝部を有することを特徴とする請求項 2 に記載の冷蔵庫。

【請求項 4】

前記リブが前後及び左右方向に同じ周期で形成され、平面視略矩形の前記鶏卵収納容器の短手方向の長さ及び長手方向の長さが隣接する前記リブの間の長さで該周期の整数倍との和に形成されることを特徴とする請求項 3 に記載の冷蔵庫。

【請求項 5】

前記鶏卵収納容器の周壁の下面に前記リブとの干渉を回避する逃げ溝を設けたことを特徴とする請求項 4 に記載の冷蔵庫。

【請求項 6】

前記リブが前後及び左右方向に同じ周期で形成され、前記鶏卵収納容器の周壁の下端に該周期で形成されるとともに前記リブに嵌合する嵌合溝を設けたことを特徴とする請求項 3 に記載の冷蔵庫。

【請求項 7】

平面視略矩形の前記鶏卵収納容器が前記溝部に嵌合する突起部を周壁の下端に有し、前記突起部を周壁の少なくとも直交する二面に設けたことを特徴とする請求項 3 に記載の冷蔵庫。

【請求項 8】

前記溝部が前後及び左右方向に同じ周期で形成され、平面視略矩形の前記鶏卵収納容器の周壁が前記溝部に嵌合することを特徴とする請求項 3 に記載の冷蔵庫。

【請求項 9】

前記溝部の幅が前記周壁の幅の 2 倍に形成されることを特徴とする請求項 7 または請求項 8 に記載の冷蔵庫。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、鶏卵を保持する鶏卵収納容器を備えた冷蔵庫に関する。

【背景技術】

【0002】

従来の冷蔵庫は特許文献 1 に開示されている。この冷蔵庫は冷蔵庫内に設けた収納室内に前後にスライド自在の収納ケースが配され、収納ケース上に鶏卵収納容器が載置される。鶏卵収納容器の上面には複数の孔部が開口し、鶏卵は孔部に挿通して保持される。収納ケースを引き出すことによって鶏卵収納容器に対して鶏卵を出し入れすることができる。

【0003】

また、冷蔵庫を開閉する扉の背面側に設けたドアポケット内に鶏卵収納容器を設置した冷蔵庫も知られている。扉を開くことによってドアポケット内の鶏卵収納容器に対して鶏卵を出し入れすることができる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

10

20

30

40

50

【特許文献1】特開2011-43296号公報（第3頁－第5頁、第2図）

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、上記従来の冷蔵庫によると、可動の収納ケースや扉に鶏卵収納容器が配されるため、収納ケースや扉の開閉時に鶏卵が振動する。鶏卵はカラザで支持される卵黄の周囲が抗菌作用を有する卵白により覆われる。カラザは経時変化によって強度が徐々に低下するため、鶏卵の振動によって破損する場合がある。この時、卵黄が周部に配されて鶏卵の殻から侵入する雑菌に接触し、鶏卵の鮮度低下が早められる虞があった。

【0006】

10

本発明は、鶏卵の鮮度低下を抑制できる冷蔵庫を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するために本発明は、貯蔵室内に配して貯蔵物を載置する載置棚と、鶏卵を保持する複数の孔部を有した鶏卵収納容器とを備え、前記鶏卵収納容器を位置決めして保持する保持部を前記載置棚に設けたことを特徴としている。この構成によると、鶏卵は鶏卵収納容器の孔部に挿通して保持される。鶏卵収納容器は載置棚上に載置され、載置棚に設けた保持部によってずれないように位置決めして保持される。孔部は貫通孔により形成してもよく、非貫通孔により形成してもよい。

【0008】

20

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記保持部が前記載置棚上に突設または凹設され、前記保持部と前記鶏卵収納容器との嵌合または複数の前記保持部間と前記鶏卵収納容器との嵌合により前記鶏卵収納容器が位置決めされることを特徴としている。

【0009】

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記保持部が前記載置棚上に突設される格子状のリブまたは前記載置棚上に凹設される格子状の溝部を有することを特徴としている。この構成によると、載置棚に設けた格子状のリブまたはリブ間に鶏卵収納容器が嵌合して位置決めされる。また、載置棚に設けた格子状の溝部に鶏卵収納容器が嵌合して位置決めされる。

【0010】

30

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記リブが前後及び左右方向に同じ周期で形成され、平面視略矩形の前記鶏卵収納容器の短手方向の長さ及び長手方向の長さが隣接する前記リブの対向面間の距離と該周期の整数倍との和に形成されることを特徴としている。

【0011】

この構成によると、平面視略矩形の鶏卵収納容器がリブとリブとの間に嵌合して位置決めされる。鶏卵収納容器の短手方向の長さ及び長手方向の長さが隣接するリブの対向面間の距離とリブの周期の整数倍との和に形成されるため、載置棚上の所望の位置に鶏卵収納容器を設置することができる。また、鶏卵収納容器の短手方向を前後方向に設置できるとともに、長手方向を前後方向に設置できる。

【0012】

40

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記鶏卵収納容器の周壁の下面に前記リブとの干渉を回避する逃げ溝を設けたことを特徴としている。

【0013】

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記リブが前後及び左右方向に同じ周期で形成され、前記鶏卵収納容器の周壁の下端に該周期で形成されるとともに前記リブに嵌合する嵌合溝を設けたことを特徴としている。

【0014】

この構成によると、鶏卵収納容器に設けた嵌合溝がリブに嵌合して鶏卵収納容器が位置決めされる。嵌合溝がリブの周期で形成されるため、載置棚上の所望の位置に鶏卵収納容

50

器を設置することができる。また、鶏卵収納容器の短手方向を前後方向に設置できるとともに、長手方向を前後方向に設置できる。

【0015】

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、平面視略矩形の前記鶏卵収納容器が前記溝部に嵌合する突起部を周壁の下端に有し、前記突起部を周壁の少なくとも直交する二面に設けたことを特徴としている。

【0016】

この構成によると、鶏卵収納容器の直交する二面の周壁に設けた突起部が溝部に嵌合して鶏卵収納容器が位置決めされる。この時、格子状の溝部に突起部が嵌合して載置棚上の所望の位置に鶏卵収納容器を設置することができる。また、鶏卵収納容器の短手方向を前後方向に設置できるとともに、長手方向を前後方向に設置できる。

10

【0017】

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記溝部が前後及び左右方向に同じ周期で形成され、平面視略矩形の前記鶏卵収納容器の周壁が前記溝部に嵌合することを特徴としている。

【0018】

この構成によると、鶏卵収納容器の周壁が溝部に嵌合して鶏卵収納容器が位置決めされる。また、鶏卵収納容器の短手方向を前後方向に設置できるとともに、長手方向を前後方向に設置できる。

【0019】

20

また本発明は、上記構成の冷蔵庫において、前記溝部の幅が前記周壁の幅の2倍に形成されることを特徴としている。

【発明の効果】

【0020】

本発明によると、載置棚に載置した鶏卵収納容器を位置決めして保持する保持部を設けたので、鶏卵収納容器に保持される鶏卵の振動を防止することができる。従って、振動によるカラザの破損を防止し、鶏卵の鮮度低下を抑制することができる。また、使用者の所望の位置に鶏卵収納容器を設置することができ、冷蔵庫の利便性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【0021】

30

【図1】本発明の第1実施形態の冷蔵庫を示す側面断面図

【図2】本発明の第1実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す上面図

【図3】本発明の第1実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す斜視図

【図4】本発明の第1実施形態の冷蔵庫の鶏卵収納容器を示す斜視図

【図5】本発明の第1実施形態の冷蔵庫の鶏卵収納容器の設置状態を示す正面断面図

【図6】本発明の第2実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す上面図

【図7】本発明の第3実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す上面図

【図8】本発明の第3実施形態の冷蔵庫の鶏卵収納容器を示す斜視図

【図9】本発明の第3実施形態の冷蔵庫の鶏卵収納容器の設置状態を示す正面断面図

【図10】本発明の第4実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す上面図

40

【図11】本発明の第5実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す上面図

【図12】本発明の第5実施形態の冷蔵庫の鶏卵収納容器を示す斜視図

【図13】本発明の第5実施形態の冷蔵庫の鶏卵収納容器の設置状態を示す正面断面図

【図14】本発明の第6実施形態の冷蔵庫の載置棚を示す上面図

【発明を実施するための形態】

【0022】

以下に本発明の実施形態を図面を参照して説明する。図1は第1実施形態の冷蔵庫を示す側面断面図である。冷蔵庫1は本体部を形成する断熱箱体2内に冷蔵室3、冷凍室4、野菜室5が上方から順に区画して設けられる。冷蔵室3の前面は回転する冷蔵室扉3aにより開閉される。冷凍室4の前面は収納ケース4bと一体の引き出し式の冷凍室扉4aに

50

より開閉される。野菜室 5 の前面は収納ケース 5 b と一体の引き出し式の野菜室扉 5 a により開閉される。

【0023】

冷蔵室 3 の両側壁には前後に延びる複数の設置部 6 が突設される。設置部 6 上には貯蔵物を載置する載置棚 10 が橋架される。

【0024】

図 2、図 3 は載置棚 10 を示す上面図及び斜視図である。載置棚 10 は透明な樹脂やガラス等により形成した平板状の載置部 12 の周囲に樹脂成形品の枠部 11 が配される。これにより、枠部 11 の内周面は載置部 12 との段差を形成する。枠部 11 と載置部 12 とを透明な樹脂等によって一体に形成してもよい。

10

【0025】

また、枠部 11 と載置部 12 とを同じ高さに形成してもよい。この時、貯蔵物の落下防止のために載置棚 10 の周部を囲むリブを設けると、詳細を後述するように、枠部 11 の段差と同様の保持部が形成される。

【0026】

載置棚 10 の載置部 12 上には前後及び左右方向に同じ周期 T で配される格子状のリブ 15 が突設される。これにより、載置棚 10 の強度を向上させることができる。また、載置部 12 上には鶏卵を保持する鶏卵収納容器 21 が載置される。

【0027】

図 4 は鶏卵収納容器 21 の斜視図を示している。鶏卵収納容器 21 は下面を開放し、四隅を曲面に形成した平面視略矩形に形成される。鶏卵収納容器 21 の上面には複数の孔部 25 が開口し、鶏卵は孔部 25 に挿通して保持される。孔部 25 は貫通孔により形成してもよく、非貫通孔により形成してもよい。

20

【0028】

鶏卵収納容器 21 の周壁 21 a の下端にはリブ 15 (図 2 参照) との干渉を回避する逃げ溝 27 が形成される。これにより、周壁 21 a の四隅に脚部 26 が下方に突出して形成される。

【0029】

図 5 は鶏卵収納容器 21 を載置棚 10 に設置した状態を示す正面断面図である。同図において、鶏卵収納容器 21 の長手方向を前後方向に設置した状態を示している。鶏卵収納容器 21 の短手方向の長さ L1 は隣接するリブ 15 の対向面間の距離 D とリブ 15 の周期 T との和に形成される。同様に、鶏卵収納容器 21 の長手方向の長さ L2 (図 2 参照) は隣接するリブ 15 の対向面間の距離 D とリブ 15 の周期 T の 5 倍の長さとの和に形成される。

30

【0030】

即ち、鶏卵収納容器 21 の短手方向長さ L1 及び長手方向の長さ L2 は距離 D と周期 T の整数倍との和になっている。これにより、鶏卵収納容器 21 の周壁 21 a の外面が複数のリブ 15 の垂直面間に嵌合し、鶏卵収納容器 21 がずれないように位置決めして保持される。従って、鶏卵の振動を防止することができる。

【0031】

この時、リブ 15 の周期 T が一定であるため、載置棚 10 上の所望の位置に鶏卵収納容器 21 を設置することができる。また、周期 T が前後及び左右方向で同じであるため図 2、図 3 に示すように、鶏卵収納容器 21 の短手方向を前後方向に配置する場合と長手方向を前後方向に配置する場合とに向きを 90° 変えて設置できる。従って、使用者の所望の位置に鶏卵収納容器 21 を設置することができ、冷蔵庫 1 の利便性が向上する。

40

【0032】

尚、載置棚 10 の枠部 11 によって載置部 12 に対して段差が形成されるため、鶏卵収納容器 21 を枠部 11 に当接して設置してもよい。この時、鶏卵収納容器 21 は枠部 11 とリブ 15 との間に嵌合して位置決めされる。従って、リブ 15 及び枠部 11 は鶏卵収納容器 21 を位置決めして保持する保持部を構成する。

50

【0033】

本実施形態によると、載置棚10に載置した鶏卵収納容器21の外面に嵌合して鶏卵収納容器21を位置決めして保持する枠部11及びリブ15（保持部）を設けたので、鶏卵収納容器21に保持される鶏卵の振動を防止することができる。従って、振動によるカラザの破損を防止し、鶏卵の鮮度低下を抑制することができる。また、使用者の所望の位置に鶏卵収納容器21を設置することができ、冷蔵庫1の利便性が向上する。

【0034】

また、載置棚10上に突設される格子状のリブ15によって鶏卵収納容器21を位置決めして保持する保持部が形成される。これにより、鶏卵収納容器21をリブ15間に嵌合して保持する保持部を容易に実現することができるとともに、載置棚10の強度を向上することができる。

10

【0035】

また、リブ15が前後及び左右方向に同じ周期Tで形成され、鶏卵収納容器21の短手方向の長さL1及び長手方向の長さL2が隣接するリブ15の対向面間の距離Dと周期Tの整数倍との和に形成される。これにより、載置棚10上の所望の位置に鶏卵収納容器21を設置できるとともに、鶏卵収納容器21の向きを90°変えて設置できる。従って、冷蔵庫1の利便性を向上することができる。

【0036】

次に、図6は第2実施形態の冷蔵庫1の載置棚10を示す上面図である。説明の便宜上、前述の図1～図5に示す第1実施形態と同様の部分は同一の符号を付している。本実施形態は第1実施形態と同じ鶏卵収納容器21を備え、第1実施形態と異なるリブ16が載置棚10に設けられている。その他の部分は第1実施形態と同様である。

20

【0037】

リブ16は左右方向及び後方に延びたT字型に形成され、左右方向に複数並設されている。後方の枠部11の内周面とこれに対向するリブ16の背面との距離は鶏卵収納容器21の長手方向の長さL2に一致する。左方の枠部11の内周面とこれに対向するリブ16の左側面との距離は鶏卵収納容器21の短手方向の長さL1に一致する。また、隣接するリブ16の左右方向に互いに対向する面間の長さは鶏卵収納容器21の短手方向の長さL1に一致する。

【0038】

これにより、鶏卵収納容器21は枠部11とリブ16との間や、隣接するリブ16間に嵌合し、ずれないように位置決めして保持される。従って、リブ16及び枠部11は鶏卵収納容器21を位置決めして保持する保持部を構成し、鶏卵の振動を防止することができる。

30

【0039】

本実施形態によると、第1実施形態と同様に、鶏卵収納容器21の外面に嵌合する枠部11及びリブ16（保持部）を設けたので、鶏卵収納容器21に保持される鶏卵の振動を防止することができる。

【0040】

次に、図7は第3実施形態の冷蔵庫1の載置棚10を示す上面図である。説明の便宜上、前述の図1～図5に示す第1実施形態と同様の部分は同一の符号を付している。本実施形態は第1実施形態と同じ格子状のリブ15が載置棚10に設けられ、第1実施形態と異なる鶏卵収納容器22を備えている。その他の部分は第1実施形態と同様である。

40

【0041】

図8は鶏卵収納容器22の斜視図を示している。鶏卵収納容器22は下面を開放し、四隅を曲面に形成した平面視略矩形に形成される。鶏卵収納容器22の四面の周壁22aの下端にはリブ15（図7参照）に嵌合する複数の嵌合溝28が形成される。

【0042】

図9は鶏卵収納容器22を載置棚10に設置した状態を示す正面断面図である。同図において、鶏卵収納容器22の短手方向を前後方向に設置した状態を示している。鶏卵収納

50

容器 2 2 の周壁 2 2 a に設けた嵌合溝 2 8 はリブ 1 5 の周期 T で並設される。これにより、嵌合溝 2 8 が格子状のリブ 1 5 に嵌合し、鶏卵収納容器 2 2 がずれないように位置決めして保持される。従って、リブ 1 5 は鶏卵収納容器 2 2 を位置決めして保持する保持部を構成し、鶏卵の振動を防止することができる。

【0043】

この時、リブ 1 5 の周期 T が一定であるため、載置棚 1 0 上の所望の位置に鶏卵収納容器 2 1 を設置することができる。また、周期 T が前後及び左右方向で同じであるため図 7 に示すように、鶏卵収納容器 2 2 の短手方向を前後方向に配置する場合と長手方向を前後方向に配置する場合とに向きを 90° 変えて設置できる。

【0044】

本実施形態によると、第 1 実施形態と同様に、鶏卵収納容器 2 2 の嵌合溝 2 8 と嵌合して鶏卵収納容器 2 2 を保持するリブ 1 5 (保持部) を設けたので、鶏卵収納容器 2 2 に保持される鶏卵の振動を防止することができる。

【0045】

また、嵌合溝 2 8 がリブ 1 5 と同じ周期 T で形成されるので、載置棚 1 0 上の所望の位置に鶏卵収納容器 2 2 を設置できるとともに、鶏卵収納容器 2 2 の向きを 90° 変えて設置できる。従って、冷蔵庫 1 の利便性を向上することができる。

【0046】

次に、図 1 0 は第 4 実施形態の冷蔵庫 1 の載置棚 1 0 を示す上面図である。説明の便宜上、前述の図 7 ~ 図 9 に示す第 3 実施形態と同様の部分は同一の符号を付している。本実施形態は第 3 実施形態と同じ鶏卵収納容器 2 2 を備え、第 1 実施形態と異なるコ字型のリブ 1 7 が載置棚 1 0 に設けられる。その他の部分は第 3 実施形態と同様である。

【0047】

リブ 1 7 は載置棚 1 0 の後端の枠部 1 1 に接して屈曲したコ字型に形成される。鶏卵収納容器 2 2 は後端面が枠部 1 1 に当接した状態で直交する二面の周壁 2 2 a に設けた嵌合溝 2 8 (図 8 参照) がリブ 1 7 に嵌合する。これにより、鶏卵収納容器 2 2 が位置決めして保持される。従って、枠部 1 1 及びリブ 1 7 は鶏卵収納容器 2 2 を位置決めして保持する保持部を構成し、鶏卵の振動が防止される。リブ 1 7 を左右方向に複数設けてもよい。また、リブ 1 7 のコーナー部分を省いてもよい。

【0048】

本実施形態によると、第 3 実施形態と同様に、鶏卵収納容器 2 2 の嵌合溝 2 8 と嵌合して鶏卵収納容器 2 2 を保持するリブ 1 7 (保持部) を設けたので、鶏卵収納容器 2 2 に保持される鶏卵の振動を防止することができる。

【0049】

また、鶏卵収納容器 2 2 の向きを 90° 変えて設置することができ、冷蔵庫 1 の利便性を向上することができる。

【0050】

次に、図 1 1 は第 5 実施形態の冷蔵庫 1 の載置棚 1 0 を示す上面図である。説明の便宜上、前述の図 1 ~ 図 5 に示す第 1 実施形態と同様の部分は同一の符号を付している。本実施形態は第 1 実施形態と異なる鶏卵収納容器 2 3 を備え、載置棚 1 0 上にはリブ 1 5 (図 2 参照) に替えて溝部 1 8 が設けられる。その他の部分は第 1 実施形態と同様である。

【0051】

載置棚 1 0 の載置部 1 2 上には前後及び左右方向に同じ周期 T で配される格子状の溝部 1 8 が凹設される。これにより、載置棚 1 0 の強度を向上させることができる。

【0052】

図 1 2 は鶏卵収納容器 2 3 の斜視図を示している。鶏卵収納容器 2 3 は下面を開放し、四隅を曲面に形成した平面視略矩形に形成される。この時、溝部 1 8 (図 1 1 参照) のコーナーの平面形状と鶏卵収納容器 2 3 のコーナーの平面形状とが異なる。鶏卵収納容器 2 3 の四面の周壁 2 3 a の下端には溝部 1 8 (図 1 1 参照) に嵌合する複数の突起部 2 9 が突出して形成される。突起部 2 9 は鶏卵収納容器 2 3 のコーナーを避けて設けられ、コー

10

20

30

40

50

ナー部分には突起部 29 間の切欠きが形成される。

【0053】

図 13 は鶏卵収納容器 23 を載置棚 10 に設置した状態を示す正面断面図である。同図において、鶏卵収納容器 23 の長手方向を前後方向に設置した状態を示している。鶏卵収納容器 23 の短手方向の長さ L_1 は溝部 18 の幅 W と溝部 18 の周期 T ($E + W$) の 2 倍の長さとの和に形成される。同様に、鶏卵収納容器 23 の長手方向の長さ L_2 (図 11 参照) は溝部 18 の幅 W と溝部 18 の周期 T の 6 倍の長さとの和に形成される。

【0054】

また、周壁 23 の幅は溝部 18 の幅 W に略一致しているため、鶏卵収納容器 23 の短手方向の周壁 23 a の内面間の長さ L_1' は溝部 18 の周期 T と隣接する溝部 18 の対向面間の距離 E との和に形成される。同様に、鶏卵収納容器 23 の長手方向の周壁 23 a の内面間の長さ L_2' (不図示) は溝部 18 の周期 T の 5 倍と隣接する溝部 18 の対向面間の距離 E との和に形成される。

【0055】

即ち、鶏卵収納容器 23 の短手方向の長さ L_1 及び長手方向の長さ L_2 は溝部 18 の幅 W と周期 T の整数倍との和になっている。また、鶏卵収納容器 23 の周壁 23 a の内面間の長さ L_1' 、 L_2' は溝部 18 の周期 T の整数倍と隣接する溝部 18 の対向面間の距離 E との和になっている。

【0056】

これにより、鶏卵収納容器 23 の突起部 29 が溝部 18 に嵌合し、鶏卵収納容器 23 のコーナーが載置部 12 に当接する。これにより、鶏卵収納容器 23 がずれないように位置決めして保持される。従って、溝部 18 は鶏卵収納容器 23 を位置決めして保持する保持部を構成し、鶏卵の振動を防止することができる。

【0057】

この時、溝部 18 の周期 T が一定であるため、載置棚 10 上の所望の位置に鶏卵収納容器 23 を設置することができる。また、周期 T が前後及び左右方向で同じであるため図 11 に示すように、鶏卵収納容器 23 の短手方向を前後方向に配置する場合と長手方向を前後方向に配置する場合とに向きを 90° 変えて設置できる。

【0058】

尚、鶏卵収納容器 23 が溝部 18 に沿ってスライドすることを回避するため、突起部 29 は直交する周壁 23 a から周期 T と異なる距離に設けられる。突起部 29 の水平方向の長さを溝部 18 の幅 W よりも大きく形成してもよい。

【0059】

また、溝部 18 と鶏卵収納容器 23 の周壁 23 とは周壁 23 の外面及び内面の一方のみで嵌合してもよい。この時、溝部 18 の幅 W を周壁 23 の幅の 2 倍に形成して周壁 23 の内面を溝部 18 に嵌合させるとより望ましい。これにより、2 つの鶏卵収納容器 23 を同じ溝部 18 に嵌合し、隣接して設置することができる。

【0060】

本実施形態によると、第 1 実施形態と同様に、載置棚 10 に載置した鶏卵収納容器 23 の突起部 29 に嵌合して鶏卵収納容器 23 を位置決めして保持する溝部 18 (保持部) を設けたので、鶏卵収納容器 23 に保持される鶏卵の振動を防止することができる。

【0061】

また、載置棚 10 上に凹設される格子状の溝部 18 によって鶏卵収納容器 23 を位置決めして保持する保持部が形成される。これにより、鶏卵収納容器 23 を嵌合して保持する保持部を容易に実現することができるとともに、載置棚 10 の強度を向上することができる。

【0062】

本実施形態において、突起部 29 は周壁 23 a の少なくとも直交する二面に形成されていけばよい。これにより、鶏卵収納容器 23 のコーナーが載置部 12 上に当接し、直交する二面の突起部 29 によって鶏卵収納容器 23 のスライドが防止される。しかしながら、

10

20

30

40

50

突起部 2 9 を周壁 2 3 a の四面や三面に形成すると、鶏卵収納容器 2 3 をより安定して設置することができる。

【0063】

また、溝部 1 8 のコーナーの平面形状と鶏卵収納容器 2 3 のコーナーの平面形状とが一致する場合は、鶏卵収納容器 2 3 のコーナーに突起部 2 9 を設けてもよく、突起部 2 9 を省いてもよい。突起部 2 9 を省いた場合は、鶏卵収納容器 2 3 の周壁 2 3 a が溝部 1 8 に嵌合し、鶏卵収納容器 2 3 を位置決めして保持することができる。

【0064】

次に、図 1 4 は第 6 実施形態の冷蔵庫 1 の載置棚 1 0 を示す上面図である。説明の便宜上、前述の図 1 1 ～図 1 3 に示す第 5 実施形態と同様の部分は同一の符号を付している。本実施形態は第 5 実施形態と同じ鶏卵収納容器 2 3 を備え、第 5 実施形態と異なる溝部 1 9 が載置棚 1 0 に設けられている。その他の部分は第 5 実施形態と同様である。

【0065】

溝部 1 9 は前後方向の一方及び左右方向に延びた T 字型に形成され、前後方向に対向配置されるとともに左右方向に複数並設されている。尚、左右方向の端部の溝部 1 9 は L 字型に形成される。前後に対向する溝部 1 9 において前方の溝部 1 9 の前面と後方の溝部 1 9 の背面との距離は鶏卵収納容器 2 3 の長手方向の長さ L 2 に一致する。左右に隣接する溝部 1 9 において左方の溝部 1 9 の前後に延びた部分の左側面と右方の溝部 1 9 の前後に延びた部分の右側面との距離は鶏卵収納容器 2 3 の短手方向の長さ L 1 に一致する。

【0066】

これにより、鶏卵収納容器 2 3 の突起部 2 9 (図 1 2 参照) の外面は溝部 1 9 に嵌合し、鶏卵収納容器 2 3 がずれないように位置決めして保持される。従って、溝部 1 9 は鶏卵収納容器 2 3 を位置決めして保持する保持部を構成し、鶏卵の振動を防止することができる。

【0067】

尚、突起部 2 9 (図 1 2 参照) の内面が溝部 1 9 に嵌合するように形成してもよい。この時、溝部 1 9 の左右方向の幅 W (図 1 3 参照) を周壁 2 3 の幅の 2 倍に形成すると、2 つの鶏卵収納容器 2 3 を同じ溝部 1 9 に嵌合し、隣接して設置することができる。

【0068】

本実施形態によると、第 5 実施形態と同様に、鶏卵収納容器 2 3 の突起部 2 9 に嵌合する溝部 1 9 (保持部) を設けたので、鶏卵収納容器 2 3 に保持される鶏卵の振動を防止することができる。

【産業上の利用可能性】

【0069】

本発明によると、鶏卵収納容器を備えた冷蔵庫に利用することができる。

【符号の説明】

【0070】

- 1 冷蔵庫
- 2 断熱箱体
- 3 冷蔵室
- 4 冷凍室
- 5 野菜室
- 6 設置部
- 10 載置棚
- 11 枠部
- 12 載置部
- 15、16、17 リブ
- 18、19 溝部
- 21、22、23 鶏卵収納容器
- 21a、22a、23a 周壁

10

20

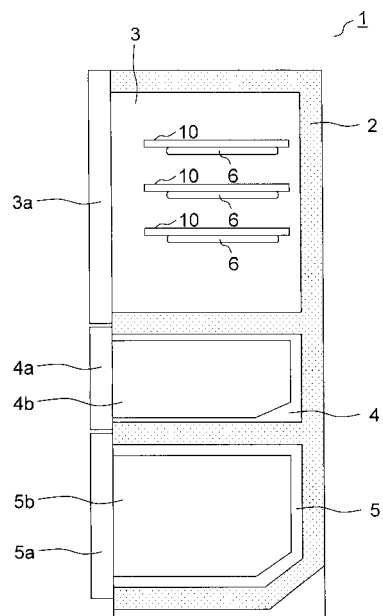
30

40

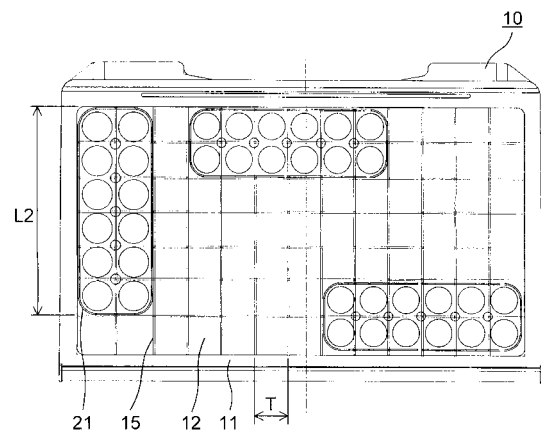
50

- 2 5 孔 部
- 2 6 脚 部
- 2 7 逃 げ 溝
- 2 8 嵌 合 溝
- 2 9 突 起 部

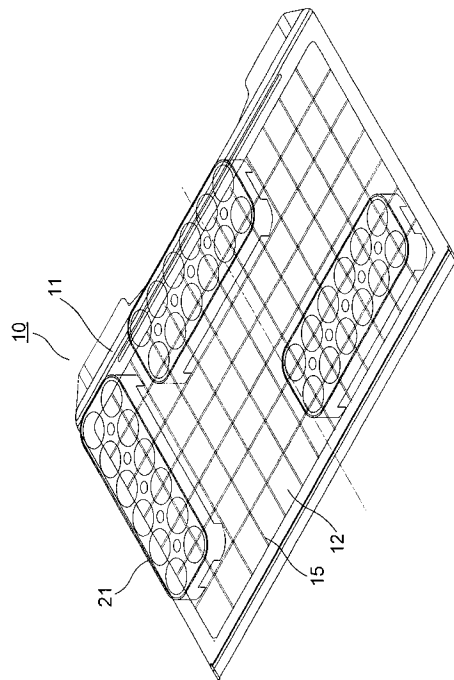
【 図 1 】



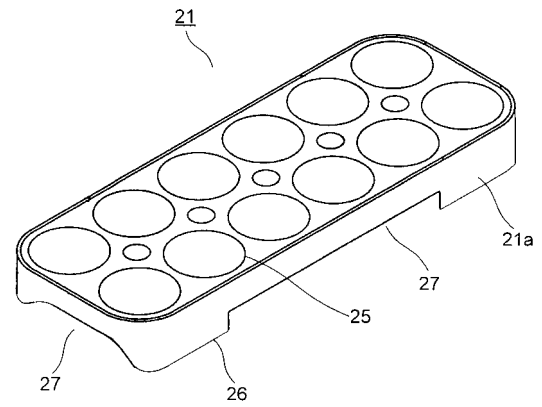
【 図 2 】



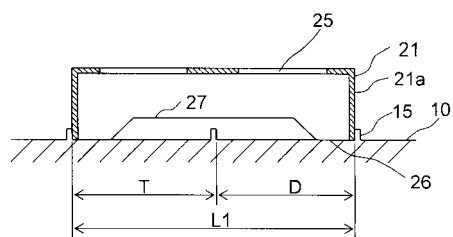
【図 3】



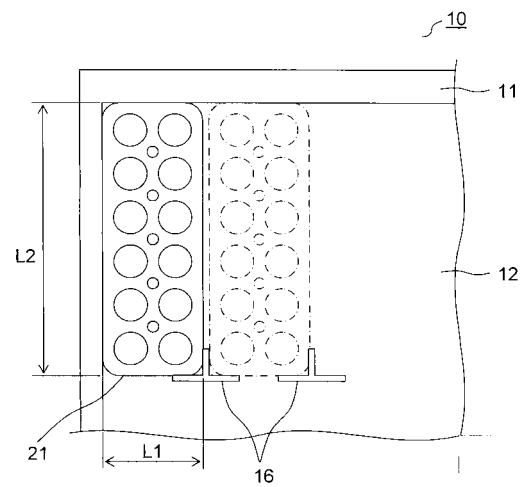
【図 4】



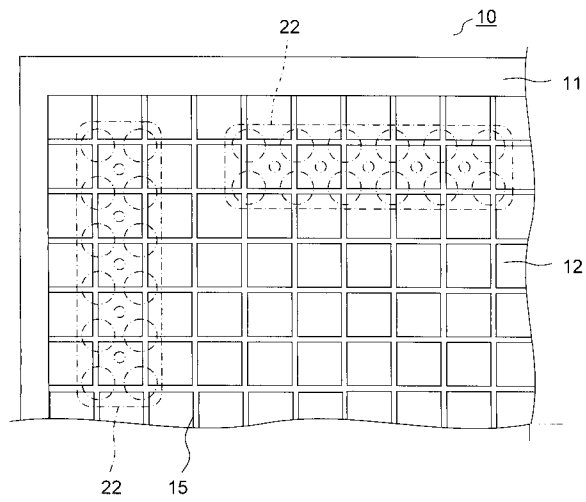
【図 5】



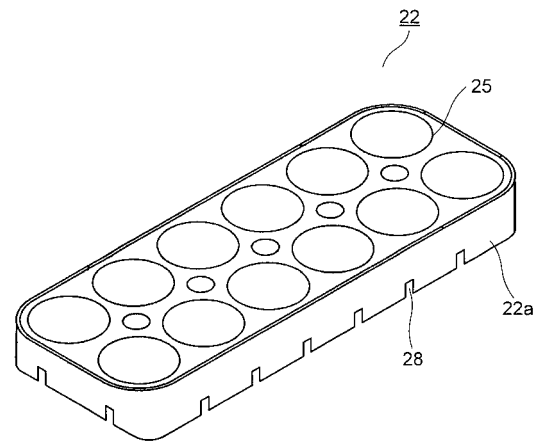
【図 6】



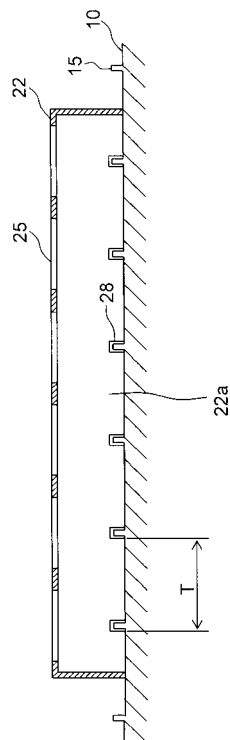
【図 7】



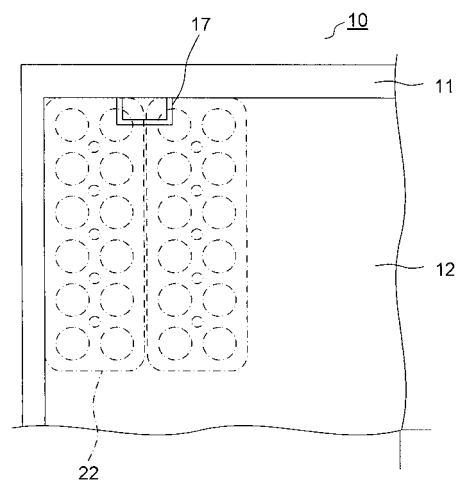
【図 8】



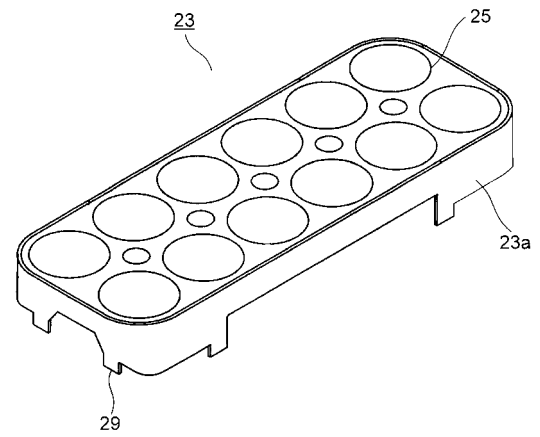
【図 9】



【図 10】



【图 1 2】



【 図 1 4 】

